

平成24年6月28日

函館線 琴似駅 ドアの取り扱い誤りについて

車掌がホームから外れていたドアを開けた事象がありましたので、お知らせします。

1. 発生日時 平成24年6月21日（木） 8時57分頃
2. 発生場所 函館線 琴似駅
(住所：札幌市西区琴似2条1丁目1-10)
3. 列車 小樽8時10分発 旭川行き 普通列車 (6両編成)
4. 概況

当該列車の運転士は、琴似駅に停車する際に6両編成のところ3両編成と勘違いしたため、6両用の停止位置よりも手前に停止しました。このとき、3両目後部の乗務員室に乗務していた車掌は、乗務員室から前後を見てドアを開けました。

運転士が手前に停止したことに気付いて車掌に連絡し、車掌が後方の確認に向かいましたが、確認に向かう途中で最後部のドアまでホームに収まっているように見えたため、乗務員室に戻って運転士と打ち合わせを行い、その場から出発しました。

その後、運転士・車掌から本事象についての報告があり、ホーム内に全てのドアが収まっていたか確認するため現地の調査（距離の計測）を行い、全てのドアがホームにかかっていたものと認識しておりました。

しかし、6月26日にお客様から本事象についての情報がEメールで寄せられ、6月27日にはお客様から当時の写真をご提供いただきました。

これを受けて再調査を行ったところ、初回の距離の計測に誤りがあったことがわかり、最後部車両が約7mホームから外れ、ドア1枚がホームから外れた状態でドアを開けていたことが判明しました。

なお、乗車されていたお客様は約150名（定員600名）で、ホームのないところに転落されたお客様や、ケガをされたお客様はいらっしゃいませんでした。

5. 原因

運転士が、編成両数を勘違いして停止したことと、車掌が、列車が停止した際に停止位置を確実に確認せずドアを開けたためです。

6. 対策

運転士は、停止の際に編成両数を確実に確認することと、車掌は、列車停止時に停止位置を確実に確認すること（疑わしいときは、最前部もしくは最後部まで確認に行くこと）を徹底するよう、改めて指導を行ってまいります。